



株式会社ベネフィット・ワン

第17期 報告書

2011年4月1日 ~ 2012年3月31日

証券コード：2412



既存事業の育成徹底とともに、子会社を加えた連結体制でさらなるサービスの充実、収益向上を図ります。

代表取締役社長 白石 徳生

## 事業概況

### 福利厚生事業

高単価会員の減少により、当期の会費収入売上高は前期比3億円マイナスと減収を余儀なくされました。その一方で、全国規模の超大型公務団体の一支部導入が決定するなど、今後の会員数拡大に向け営業面では実りある年となりました。

次期は、総額報酬管理制度(トータルコンペンセーション)に基づく新提案を強化するとともに、利用率向上や受注単価引き上げを目的とした新商品の拡販を進めていくことで、2013年4月会員数382万人(本年4月比98万人増)を目指してまいります。

### CRM事業

当期は個人課金型モデルを推進するパーソナル事業の拡大により、前期比3.3億円プラスの増収を達成いたしました。

次期は、スポーツクラブや不動産会社、携帯販社等との取引開始に伴う着実な会員数の積み上げを見込むとともに、歩留まり率向上のための利用率向上にも努めることで、2013年4月会員数366万人(本年4月比69万人増)を目指します。

### インセンティブ事業

大口顧客を中心としたポイント付与額の積み上がりが順調に交換に転じたことで、当期は、売上高前期比4.3億円増と、当社事業の中で最大の増収額を確保しました。

成長事業として、更なる人員投入やシステム投資を図ることで、今後も一層の収益アップを見込んでおります。

### ヘルスケア事業

当期は、新規受注や受診促進効果で増収を達成し、さらにコスト抑制が功を奏し、最終利益では黒字化に成功、大きく収益改善を果たしました。

次期は、失注案件や単価低下に伴い既存事業では収益悪化が見込まれるものの、後述する事業再編によって一気に黒字転換達成を企図するとともに、競争力を強化してまいります。

### 重点施策

部署横断的なクロスセル強化を目的に、本年4月に「営業総本部」を新設し、各営業セクションの統合的な営業力向上を図っております。福利厚生・インセンティブ・BTM・旅行等各事業の案件を集約し複合提案を行うことで、需要積み上げを図るとともに

Close Up! ①

### 連結売上高構成の推移

※2012年度計画のヘルスケアには保健教育センターを含む ※その他には物販売上を含む



に、効率的な受注につなげていきます。

またサービス拡充面では、利用促進に向けたユーザビリティ向上を図るため、戦略的にシステム投資を進めてまいります。第一弾として、本年4月にはトップページの検索性向上を実施いたしました。今後もスマートフォンに対応したコンテンツのアプリ化や、ホームページの第二弾リニューアル等を控えており、引き続き、利便性向上による顧客満足度向上に努めてまいります。

### 決算概要

Close Up! ①

2011年度は、売上高149.6億円、営業利益24.7億円、経常利益25.1億円と、過去最高益を達成することができました。

売上面では、インセンティブ事業とパーソナル事業の拡大が、福利厚生事業の減収を補い、前期比2.7億円の増収となりました。

売上原価は、ガイドブック印刷費の圧縮や大型団体での収益改善、松山オペレーションセンターの運営効率化による労務費削減を主に、原価率の低減によって前期比1千万円減を実現しました。

一方、販売費及び一般管理費においては、システム要員にかかる人件費増加が生じたものの、その他経費の抑制を図ったことで、総額で前期比7.6千万円の増加に留めることができました。

これらの結果、営業利益は前期比2億円の増益、経常利益は同1.7億円の増益となりました。

### 新展開の事業について

#### コストダウンサービスの拡大

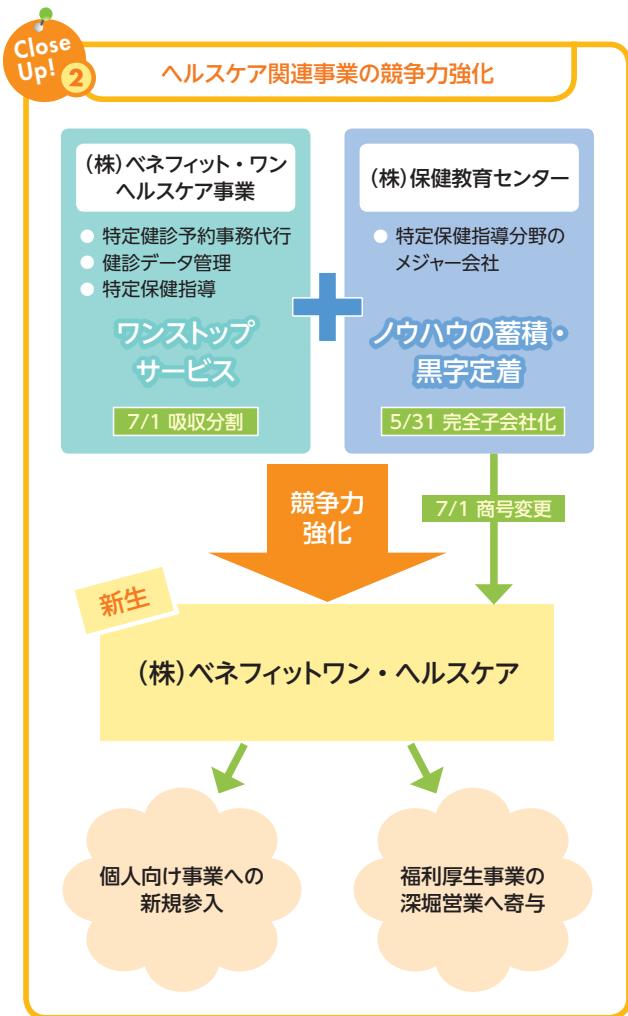
本年3月30日に、株式会社ユニマツソリューションズを完全子会社化し、同日付で株式会社ベネフィットワンソリューションズへ商号変更いたしました。同社は、主に通信回線に関わる精算代行、利用管理などを行うとともに、コストダウンのための最適プランのコンサルティングサービス等を提供しており、最近では車両管理、旅費・交通費管理へとサービス領域を拡大しています。同サービスは、当社のアウトソーシング事業とも親和性が高く、グループ全体で「コストダウンサービス」のラインナップ拡大を図っていきます。

#### ヘルスケア関連事業の強化

本年5月31日付で、特定保健指導業界第2位の株式会社保健教育センターを完全子会社化いたしました。同社は、大手団体を中心に特定保健指導事業を提供しており、医療費抑制・疾病予防・健康増進分野においては、常に先駆的なプログラムを開発・実施してきました。一方、当社では、特定健診予約事務代行をはじめ、健診データ管理から特定保健指導の実施に至るまで、ワンストップのサービスを提供しています。

今後は、同社が培ってきた保健指導ノウハウを活かしながら、規模の利益追求と業務効率化を推進することで、ヘルスケア事業分野での更なる成長を目指します。また、官公庁を中心とした、福利厚生アウトソーシングと特定保健指導の一括受注トレンドを取り込むことで、福利厚生事業への寄与も期待しています。

なお、一層の業務効率化と同事業分野での競争力強化を目的に、本年7月1日付で、当社ヘルスケア事業を吸収分割によって株式会社保健教育センターに承継し、さらに同日付で株式会社ベネフィットワン・ヘルスケアに商号変更を行うことで、当社グループのヘルスケア関連事業を同社に集約していきます。



初海外拠点の設立

本年5月2日に、初の海外拠点となる、現地法人ベネフィットワン上海を設立いたしました。中国の福利厚生マーケットでは現物給付の福利厚生制度が普及していること、また優秀な社員の囲い込み施策の需要があることから、当面は日系企業の中国人従業員の方を対象として、報奨ポイントプログラム「インセンティブ・カフェ」、訪日旅行を扱う「インバウンドサービス」を提供していきます。3年以内の黒字化を目標としており、長期的には中国資本の企業やその他外資系企業へも顧客範囲の拡大を図ります。

株主様へのメッセージ

おかげさまで業績は右肩上がりのトレンドを維持しており、株主様各位の日頃のご支援に報いるためにも、2011年度の期末配当は、当初計画の1株当たり2,500円から3,000円(配当性向45.6%)に増配いたしました。なお、次期につきましても、同額の1株当たり3,000円の配当を計画しております。

次期は新たに子会社2社を加えた新体制での運営となります。グループ内でのシナジーを高めるとともに、より一層のサービス充実に邁進していく所存でございますので、引き続き長期的なご支援を賜りますようお願い申し上げます。



# 東北六魂祭 2012

ご来場・ご協賛ありがとうございました。

来場者数 延べ24万3,000人!

5月26日・27日の2日間、岩手県盛岡市において「東北六魂祭2012」が盛大に開催されました。

昨年の仙台市に引き続き2度目の開催となった今年は、約1キロにおよぶ6大祭りパレード、3つの広場で行われた催しなどが大盛況に終わり、初日11万3千人、2日目13万人、合計：24万3千人の方にご来場いただき、無事閉幕することができました。

当社は昨年に引き続き協力企業として参画し、当日はイベント会場の一画に「ベネフィット・ワンふれあいコーナー」を設け、イベントステージでのキッズダンスパフォーマンスや、サンプル

品提供コーナーでの合計30万個におよぶ商品配布など、ご来場の方にお喜び・お楽しみいただけるような参加型フェスタを開催いたしました。

本イベントの目的である「東北を元気にする」、「東北に人を集める」ことを再び実現できましたのも、ひとえに皆様からの多大なるご支援・ご協力の賜物であると感じたいと申すと共に、心より御礼申し上げます。

「復興」はまだまだ続きます。当社は今後も東北への支援を継続して行っていきますので、今後とも変わらぬご支援の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

決算の  
ポイント

- 会員数は計画未達も前期比33万人増加
- インセンティブ事業・CRM(パーソナル)事業の伸長により、前期比2.7億円の増収
- 営業利益・経常利益・当期純利益ともに増益達成

当連結会計年度におけるわが国経済は、底堅い個人消費や、被災した設備の修復に伴う設備投資の増加により底堅さがみられ、海外経済の改善の動きからも、持ち直しに向かう動きがみられます。

民間企業・官公庁等は、福利厚生に関して、従業員の多様なニーズに応えるサービスを経済的に提供することを目的に、アウトソーシングの活用を進めております。

当社は、これに対応するため、民間企業・官公庁に提案営業を積極的に実施すると共に、福利厚生サービスについて宿泊・スポーツ・育児・介護などのメニューを拡充し、優れたワークラ

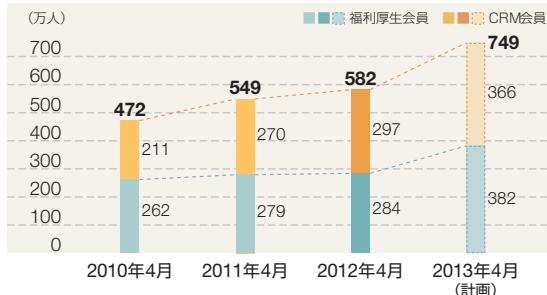
イフ・バランスを実現するよう努めております。

また、企業顧客満足度向上のためのサービス「カスタマー・リレーションシップ・マネージメント(CRM)事業」において、企業の顧客から直接収入を得る「パーソナル事業」に注力すると共に、報奨金等をポイント化して管理・運営する「インセンティブ事業」など福利厚生以外の事業の拡大にも注力して参りました。

こうした取り組みの結果、当連結会計年度の売上高は14,959百万円、営業利益は2,471百万円、経常利益は2,512百万円、当期純利益は1,447百万円となりました。

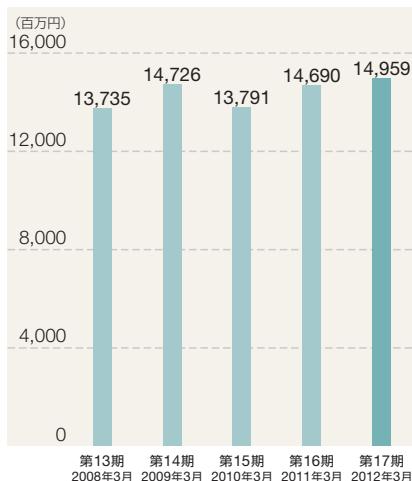
売上高 **14,959**百万円  
 営業利益 **2,471**百万円  
 経常利益 **2,512**百万円  
 当期純利益 **1,447**百万円  
 総会員数 **582**万人

総会員数の推移



# 業績の推移

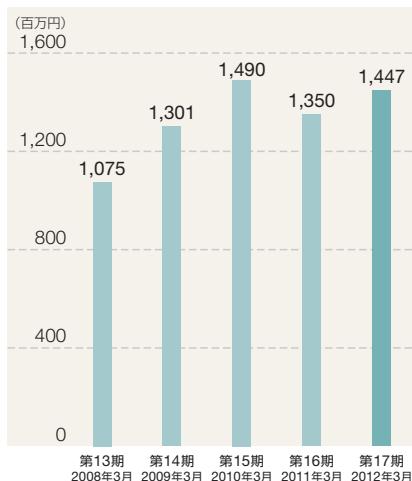
## 売上高



## 経常利益



## 当期純利益



## 自己資本／自己資本比率



## 自己資本利益率 (ROE)



## 1株当たり当期純利益



(注) 第16期のみ単体数値で表示しています。

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	第17期	第16期(ご参考)
	[2012年3月31日現在]	[2011年3月31日現在]
<b>資産の部</b>		
1 流動資産	11,792	8,971
2 固定資産	3,490	3,438
有形固定資産	1,587	1,554
無形固定資産	993	1,051
投資その他の資産	908	832
資産合計	15,283	12,409
<b>負債の部</b>		
3 流動負債	5,427	3,541
固定負債	237	156
負債合計	5,664	3,698
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,516	1,516
資本剰余金	1,456	1,456
利益剰余金	6,961	6,065
自己株式	△ 330	△ 330
株主資本合計	9,604	8,708
その他の包括利益累計額	13	3
4 純資産合計	9,618	8,711
負債純資産合計	15,283	12,409

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	第17期	第16期(ご参考)
	[2011年4月1日から 2012年3月31日まで]	[2010年4月1日から 2011年3月31日まで]
売上高	14,959	14,690
5 売上原価	9,058	9,069
売上総利益	5,900	5,620
6 販売費及び一般管理費	3,429	3,353
営業利益	2,471	2,267
営業外収益	52	78
営業外費用	11	3
経常利益	2,512	2,342
特別利益	—	0
特別損失	8	31
税金等調整前当期純利益	2,503	2,311
法人税、住民税及び事業税	1,033	984
法人税等調整額	22	△ 23
少数株主損益調整前当期純利益	1,447	1,350
当期純利益	1,447	1,350

POINT  
1

**流動資産**

現金及び預金7,705百万円、受取手形及び売掛金2,467百万円等により、11,792百万円となりました。

POINT  
3

**流動負債**

支払手形及び買掛金1,926百万円、未払金1,180百万円等により、5,427百万円となりました。

POINT  
5

**売上原価**

利用率は前年を上回るも、ガイドブック印刷費の圧縮、大型案件の収益改善等により、9,058百万円となりました。

POINT  
2

**固定資産**

有形固定資産1,587百万円、無形固定資産993百万円等により、3,490百万円となりました。

POINT  
4

**純資産合計**

資本金1,516百万円、利益剰余金6,961百万円等により、9,618百万円となりました。

POINT  
6

**販売費及び一般管理費**

システム要員等の人件費増加等により、3,429百万円となりました。

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	第17期	第16期(ご参考)
	[2011年4月1日から 2012年3月31日まで]	[2010年4月1日から 2011年3月31日まで]
営業活動による キャッシュ・フロー	2,533	2,192
投資活動による キャッシュ・フロー	167	△ 43
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 574	△ 558
現金及び現金同等物の 増加額	2,126	1,589
現金及び現金同等物の 期首残高	5,782	4,192
現金及び現金同等物の 期末残高	7,908	5,782

### POINT 7

#### 営業活動によるキャッシュ・フロー

収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益2,503百万円、減価償却費523百万円、仕入債務の増加額328百万円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加126百万円、法人税等の支払額1,026百万円により、2,533百万円となりました。

#### 投資活動によるキャッシュ・フロー

収入の主な内訳は、連結範囲変更を伴う子会社株式の取得による収入543百万円であり、支出の主な内訳は、ソフトウェア等の無形固定資産の取得240百万円により、167百万円となりました。

#### 財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払551百万円があったこと等により、△574百万円となりました。

## 連結株主資本等変動計算書

(第17期 2011年4月1日から2012年3月31日まで)

(単位:百万円)

科目	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	1,516	1,456	6,065	△ 330	8,708	3	3	8,711
当期変動額								
剰余金の配当			△ 550		△ 550			△ 550
当期純利益			1,447		1,447			1,447
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						10	10	10
当期変動額合計	—	—	896	—	896	10	10	907
当期末残高	1,516	1,456	6,961	△ 330	9,604	13	13	9,618

(注) 平成24年3月30日付で株式会社ベネフィットワンソリューションズを完全子会社化したため、当期は連結決算となっております。前期の数値については参考数値として単体数値を掲載させていただいております。

# ID・パスワードの再発行方法について

「ベネフィット・ステーションを利用したいけど、ID・パスワードがわからずログインができない・・・」  
 そういった会員様のお声にお応えすべく、ID・パスワードのご案内は郵送のみでしたが、メールでのご案内を開始いたしました。  
 その申請方法についてご案内いたします。

ベネフィット・ステーション  
 トップページ

**1** 「会員ID・パスワードについて」をクリック

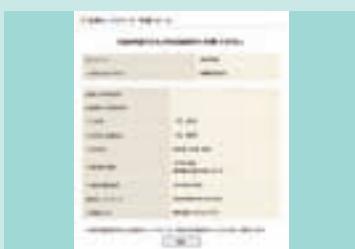


**2** 「リマインダー未登録の方」  
 →「会員ID・パスワード申請はこちら」をクリック

**3** 「個人情報の取扱いについて」  
 →内容を確認いただいたら「同意する」をクリック



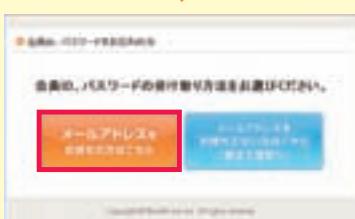
**10** 内容確認後→送信



**11** 当社にて承認  
 →返信※2

再発行完了※3

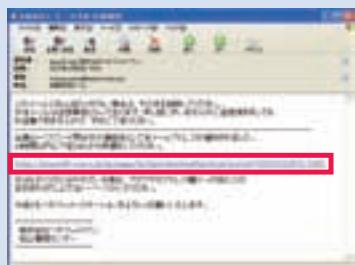
**4** 条件にて受取り方法をお選びください。「メールアドレスをお持ちの方はこちら」をクリック!



**9** ID・パスワード申請フォームに必要項目を入力  
 →「確認画面」へ※1



**8** 送られてきた「自動返信メール」に記載してあるURLにアクセス



**5** メールアドレスを入力  
 →確認画面へ

**6** 内容を確認して送信

**7** 送信されたことを確認後  
 →閉じる



※1 仮パスワードを設定します。お忘れにならないよう、お控えください。

※2 個人認証にお時間を頂戴するため、メールでのご返信はご申請から約3営業日かかります。また、郵送でお受取りの場合は約1週間かかります。予めご了承ください。

※3 パスワードをご申請の方は、「9 ID・パスワード申請フォーム」でご登録いただいた仮パスワードでログインとなります。

会社概要 (2012年3月31日現在)

会社名	株式会社ベネフィット・ワン
設立	1996年3月15日
資本金	15億1,652万円
本社所在地	〒150-0002 東京都渋谷区渋谷三丁目12番18号 渋谷南東急ビル
従業員数	532名
支店所在地	大阪、札幌、仙台、横浜、浜松、名古屋、京都、広島、 高松、松山、福岡
URL	<a href="http://www.benefit-one.co.jp/">http://www.benefit-one.co.jp/</a>
役員	取締役会長 南部靖之 (2012年6月28日現在)
	代表取締役社長 白石徳生
	取締役副社長 鈴木雅子
	常務取締役 野曾原浩治
	取締役 太田 努
	取締役 平澤 創
	取締役 若本博隆
	取締役 坂田裕子
	取締役 上斗米明
	常勤監査役 加藤佳男
	常勤監査役 富山正一
	監査役 後藤 健
	監査役 藤池智則

株式情報 (2012年3月31日現在)

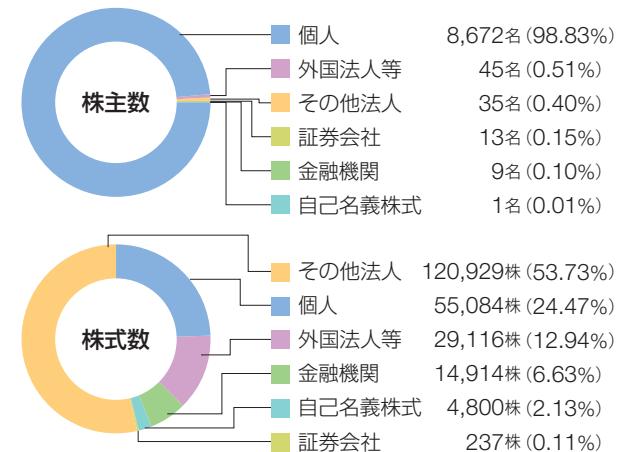
発行可能株式総数	700,000株
発行済株式の総数	225,080株
株主数	8,775名

大株主

株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
株式会社パナソニックグループ	114,582	52.01
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	13,358	6.06
白石 徳生	6,752	3.06
THE CHASE MANHATTAN BANK, N.A LONDON SECS LENDING OMNIBUS ACCOUNT	4,438	2.01
野村信託銀行株式会社(投信口)	4,184	1.89
MELLON BANK, N.A.TREATY CLIENT OMNIBUS	4,048	1.83
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,604	1.63
THE BANK OF NEW YORK MELLON AS AGENT BNYM AS EA DUTCH PENSION OMNIBUS 140016	3,245	1.47
株式会社ホワイトアンドストーン	2,248	1.02
ベネフィット・ワン社員持株会	2,227	1.01

※ 上記のほか、当社が保有している自己株式4,800株があります。  
議決権比率は、自己株式を控除して算出しております。

株式分布状況



## 株主優待のご案内



※ 写真のガイドブックは2012年度のものです。

毎期末の株主名簿に記録された株主の皆様へ、当社商品の福利厚生サービス(宿泊施設、スポーツクラブ、育児、介護、グルメ等の各種サービスが割引料金で利用可能)を提供いたします。

### ● 優待の内容

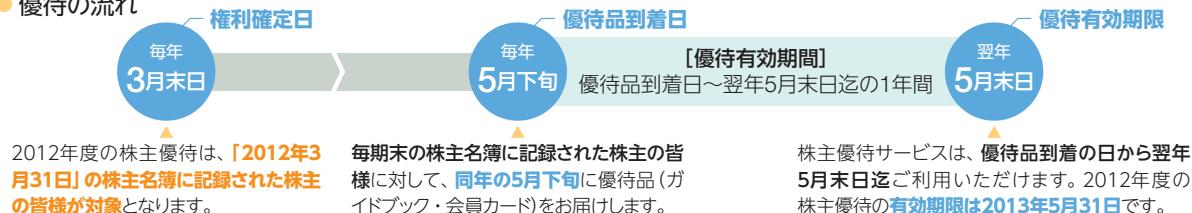
下記のとおり、提供コースは保有株式数に応じて異なります。ゴールドコースBとは、スタンダードコースAのサービス内容をさらに優遇させたものです。

#### 【保有株式数優待の内容】

1株以上～10株未満	「ベネフィット・ステーションスタンダードコースA」1名様分
10株以上	「ベネフィット・ステーションゴールドコースB」1名様分

※ 会報誌は優待品に含まれません。会報誌の内容につきましては、会員専用ホームページ(<http://www.benefit-one.co.jp/>)をご参照ください。

### ● 優待の流れ



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-176-417

(インターネットホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告の方法 電子公告にて当社のホームページに掲載する。  
<http://www.benefit-one.co.jp/>

ただし、やむをえない理由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

上場証券取引所 東京証券取引所

【株式に関する住所変更等のお届出および照会について】 証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。